

耐風パラソル



STELLA
- ステラ -

八角タイプ & スクエアタイプ 組立・取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。



これからのエクステリアを考える **タカノEX**

この説明書はステラを安全に組立て、取扱う為のものです。説明書に従って組立ててください。万一、従わなかった場合、破損や怪我などの原因になる場合もあります。不明な点がありましたら、取扱店にご相談ください。



重要

この警告/重要マークが付く説明内容には特に注意を払ってください。但し、このマニュアルのその他の説明が重要ではないということではありません。

このマニュアルは今後、必要な時のために大切に保管してください。

< 安全のための重要な説明 >



以下の部分にご注意ください。

1. 説明

この説明内容を良くお読みになって施工してください。説明内容に沿って組立て施工をされなかった場合、怪我や破損の原因になることがあります。ご使用に際しては説明書をよく読んでください。

2. 警告

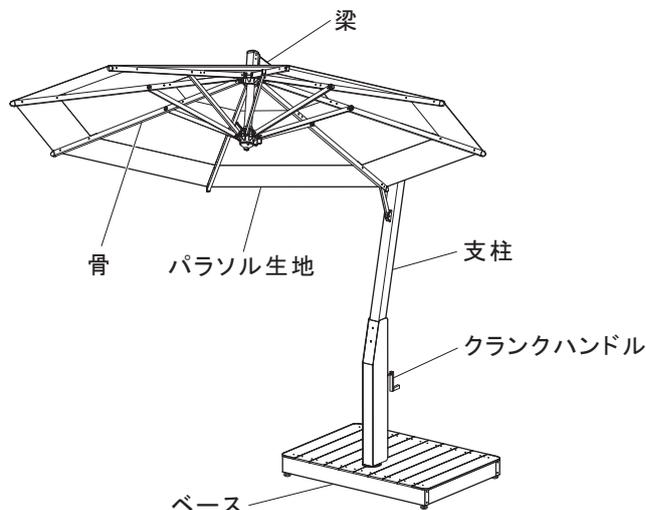
この商品は悪天候のための物ではなく日除け用です。強風や雷雨、豪雨や雪の時にはパラソルを閉じてベースから取り外し保管してください。ベースは、平らで安定した所(例：コンクリート等)に設置をしてください。

芝・土等柔らかな所への設置は転倒の原因となります。

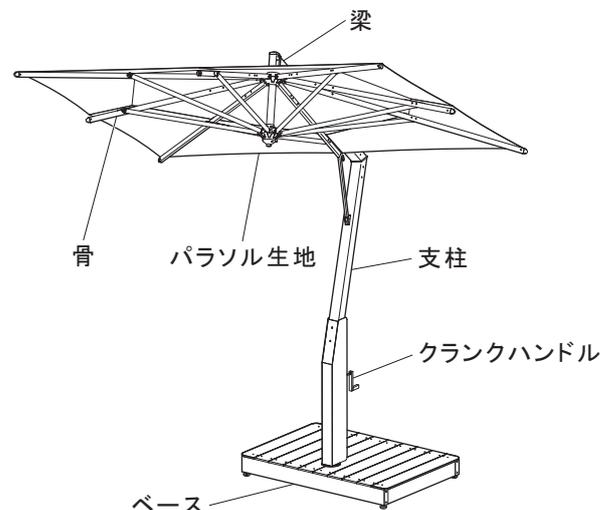
またベースは専用のウェイト(136Kg)で安定させてください。

クランクハンドルは常に取り外し、お子様から遠ざけて保管してください。

各部の名称



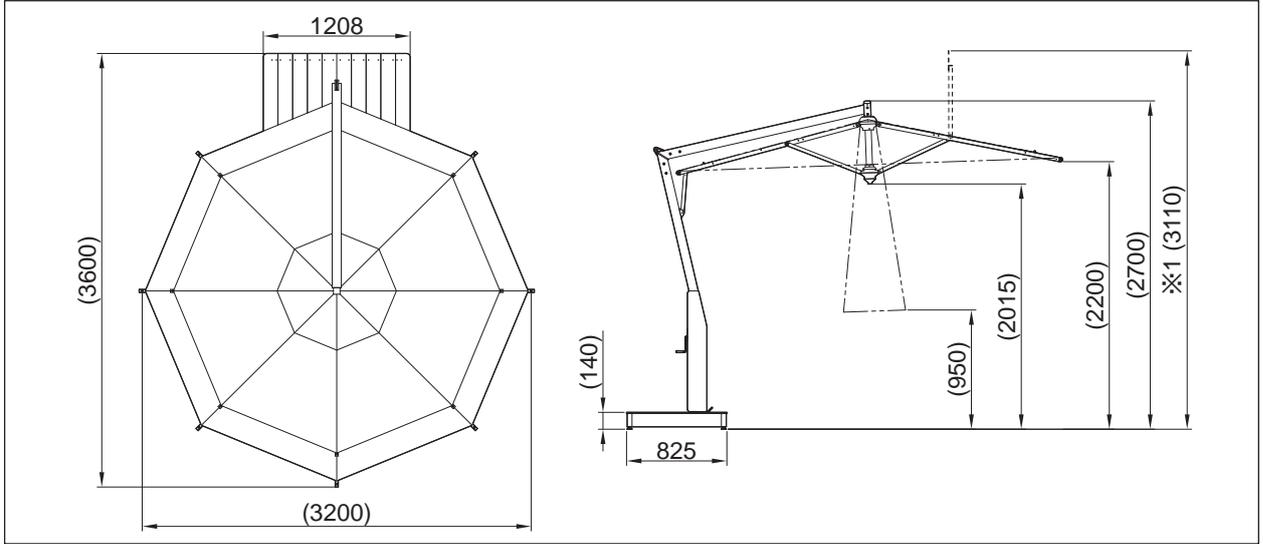
八角タイプ



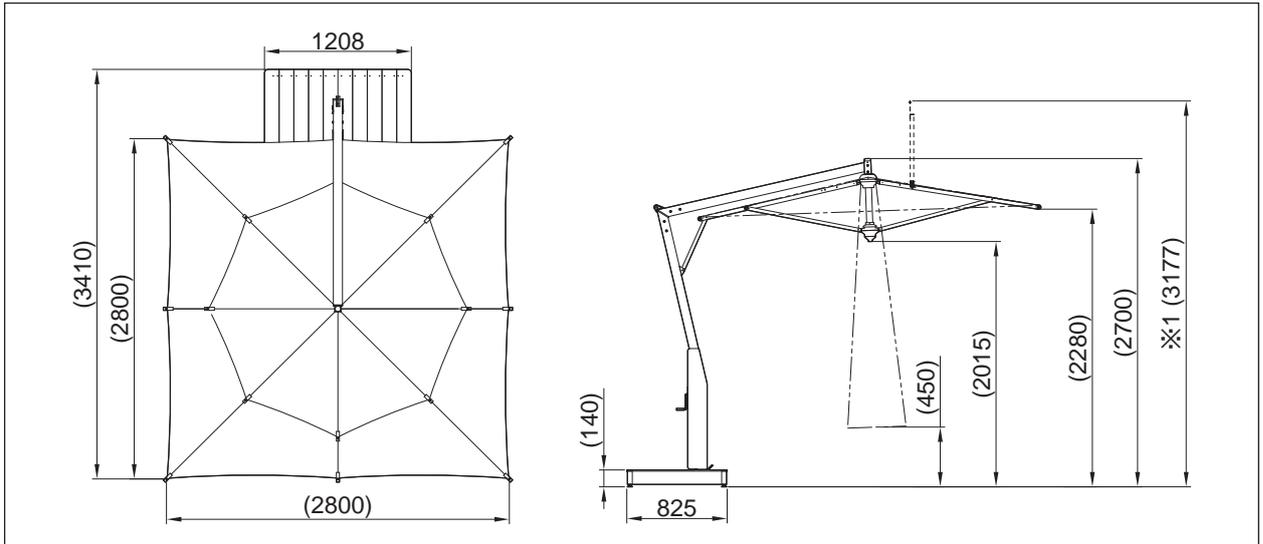
スクエアタイプ

基本図【標準】

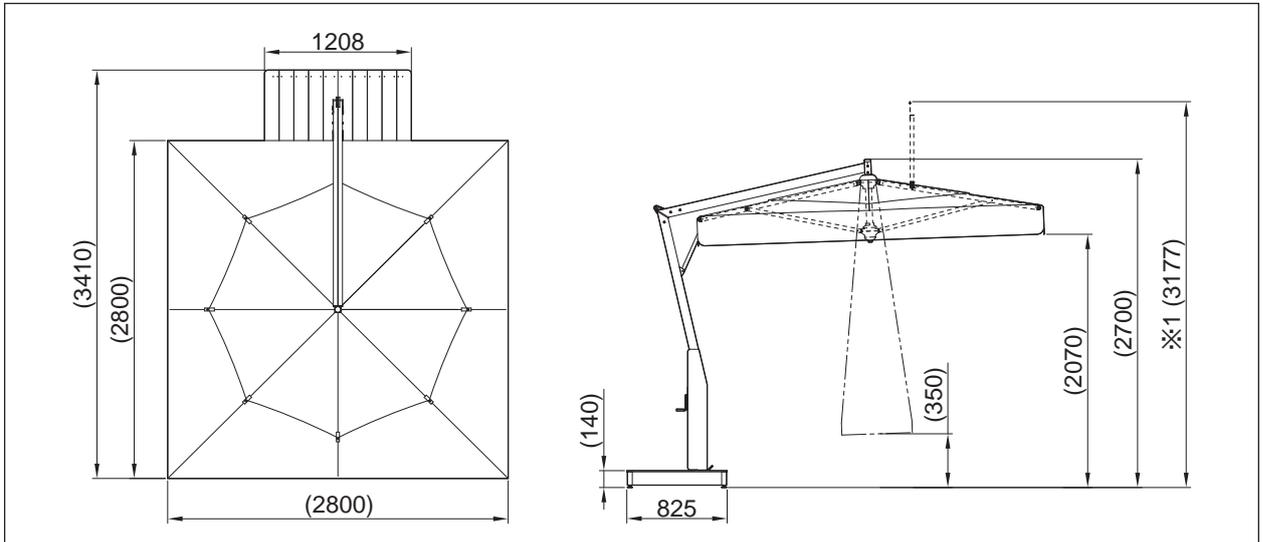
八角タイプ



スクエアタイプ



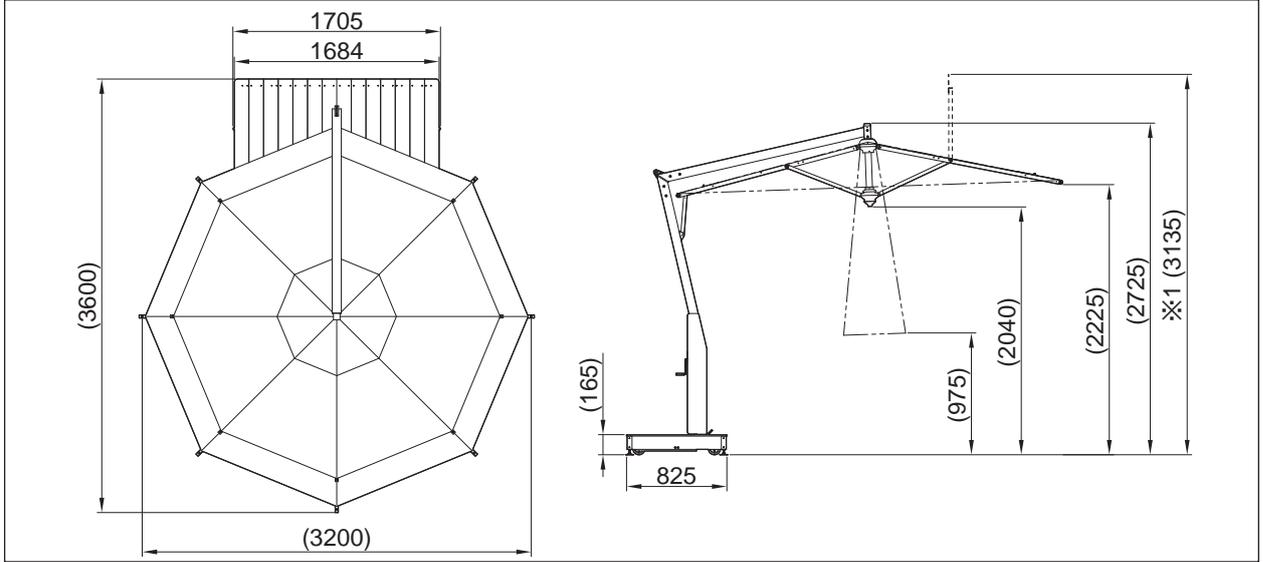
スクエアフリルタイプ



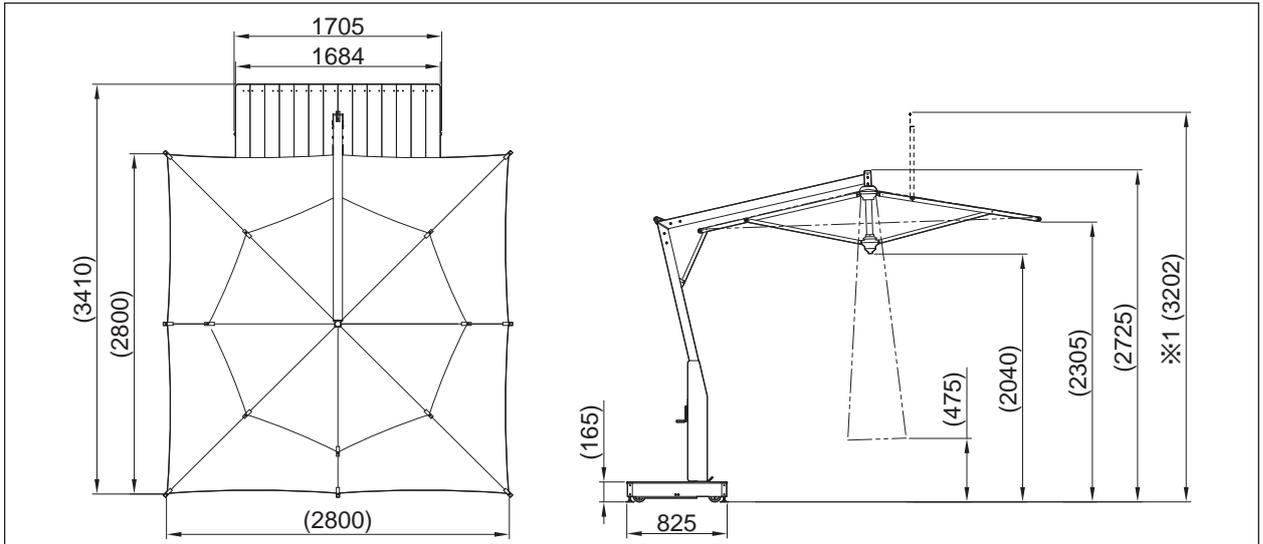
※1 パラソルの上に構造物（軒下に設置の場合など）、電線類等がある場合、強風時に干渉する恐れがありますので、高さを確認の上ご使用ください。

基本図【移動式】

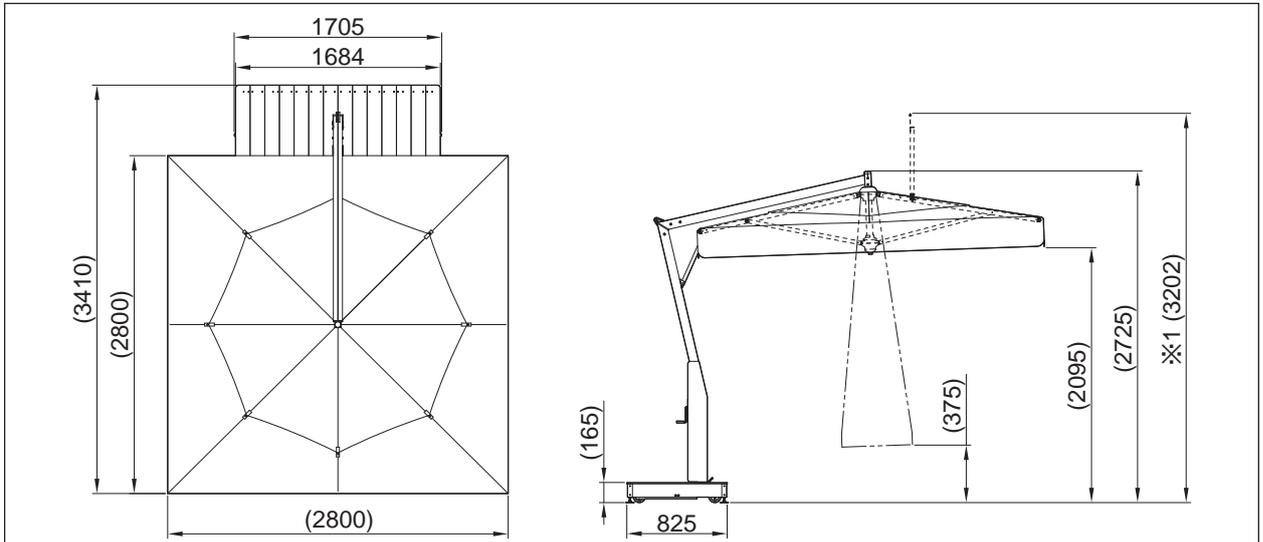
八角タイプ



スクエアタイプ



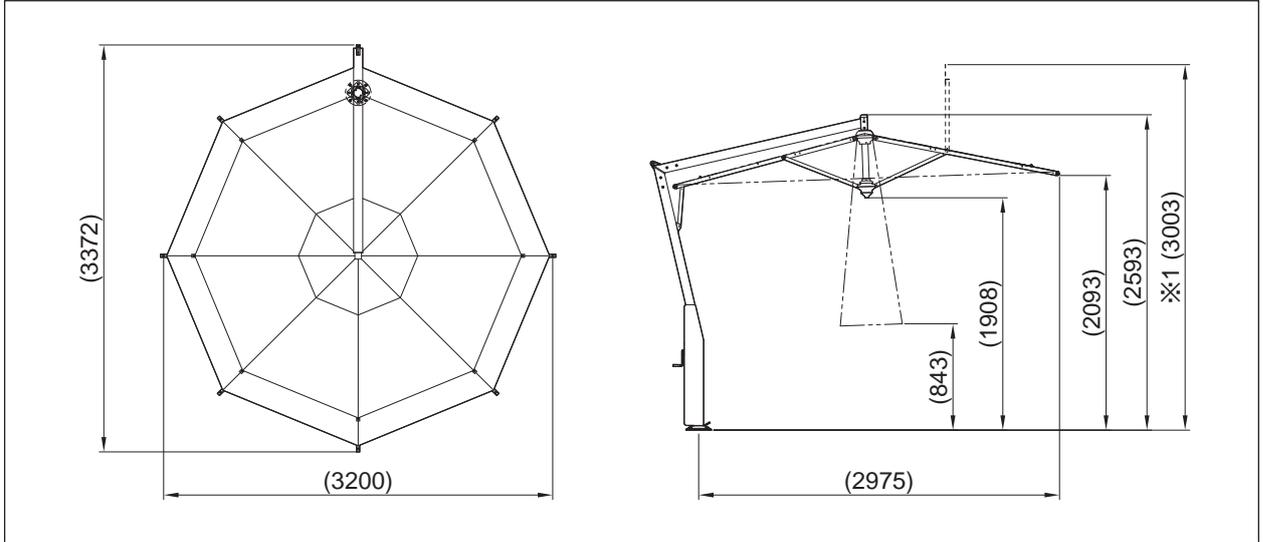
スクエアフリルタイプ



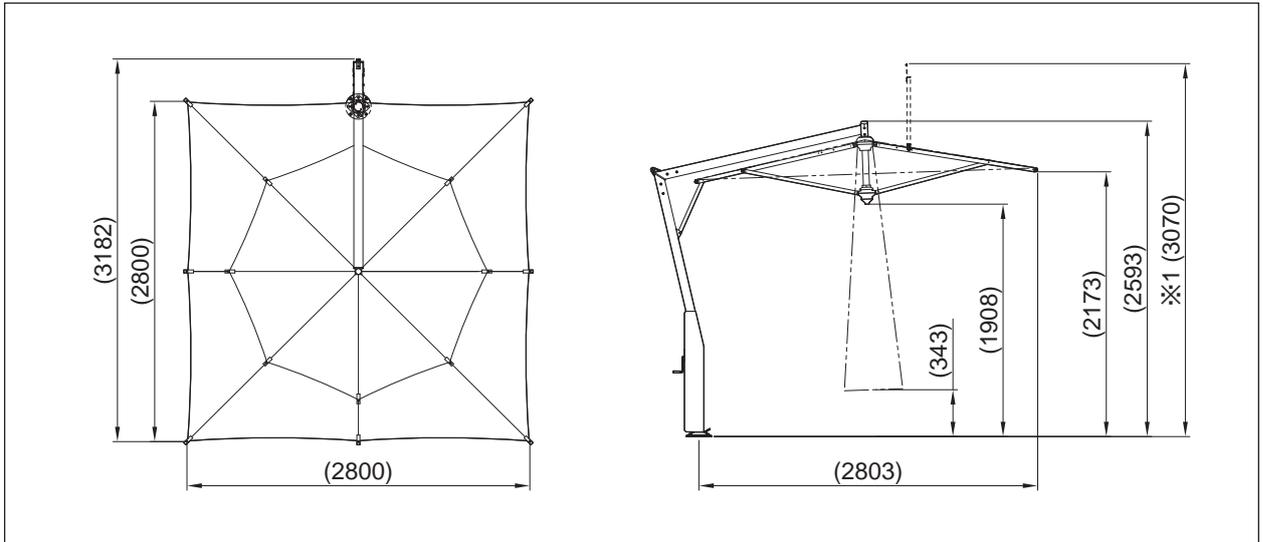
※1 パラソルの上に構造物（軒下に設置の場合など）、電線類等がある場合、強風時に干渉する恐れがありますので、高さを確認の上ご使用ください。

基本図【アンカー仕様】

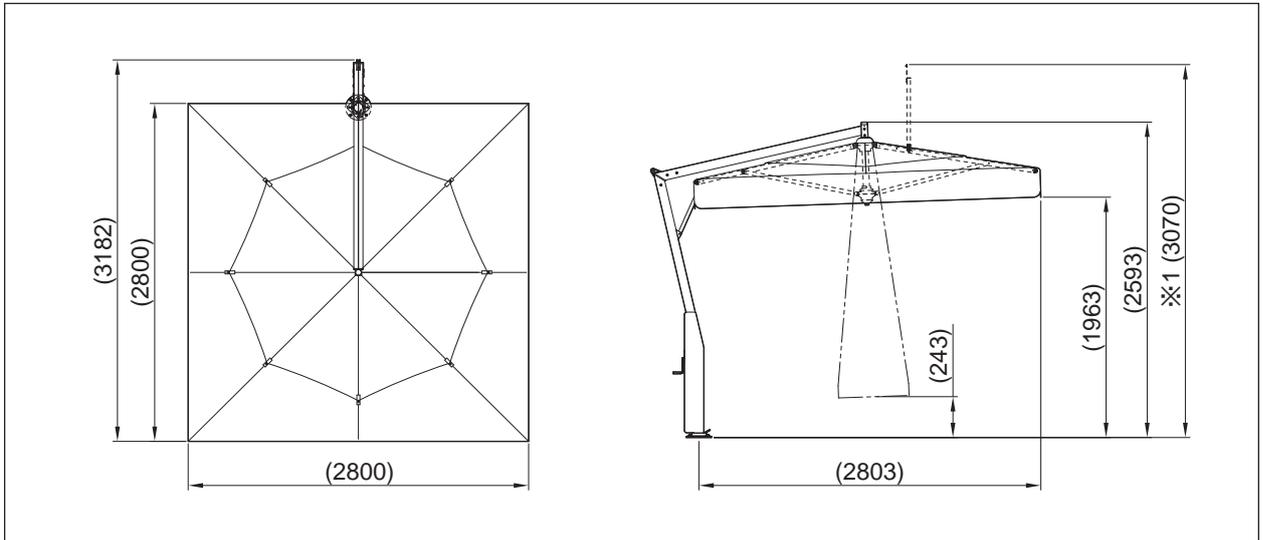
八角タイプ



スクエアタイプ



スクエアフリルタイプ



※1 パラソルの上に構造物（軒下に設置の場合など）、電線類等がある場合、強風時に干渉する恐れがありますので、高さを確認の上ご使用ください。

梱包明細【標準】

梱包名称	梱包サイズ (mm)	梱包重量	数量
1.パラソル本体	八角	260×260×1840	18Kg
	スクエア	260×260×2310	19Kg
	スクエアフリル	260×260×2310	20Kg
2.支柱	290×215×2276	16Kg	1
3.ベース	850×155×1240	22Kg	1
4.ウェイト(2枚入り)	510×70×510	34Kg	4

梱包総重量	
八角タイプ	192Kg
スクエアタイプ	193Kg
スクエアフリルタイプ	194Kg

<部品明細表>

1.パラソル本体 (八角 or スクエア or スクエアフリル)

No.	名称	略図	数量
1	パラソル本体		1
2	クランクハンドル		1
3	グリップ		1
4	収納ベルト		1
5	組立・取扱説明書		1

2.支柱 (共通)

No.	名称	略図	数量
1	支柱		1
2	梁		1
3	柱軸パイプ		1
4	支柱受け		1
5	回り止めピン		1
6	梁組付けボルト	六角ボルト M8×15	4
7	組立用スパナ	対辺13	2

3.標準ベースセット (共通)

No.	名称	略図	数量
1	ベース		1
2	ベースカバー		左右各1
3	ベース補強板		1
4	柱軸パイプ組付けボルト	六角ボルト M8×110	4
5	柱軸パイプナット	M8	4
6	柱軸パイプばね座金	M8	4
7	柱軸パイプ平座金(小)	8×16×1.2	4
8	柱軸パイプ平座金(大)	8×30×2.0	4
9	ベースカバー固定ネジ	化粧ネジ M5×50	4

4.ウェイト (共通)

No.	名称	略図	数量
1	ウェイト (1枚 17Kg)		8

梱包明細【移動式】

梱包名称	梱包サイズ (mm)	梱包重量	数量
1.パラソル本体	八角	260×260×1840	18Kg
	スクエア	260×260×2310	19Kg
	スクエアフリル	260×260×2310	20Kg
2.支柱	290×215×2276	16Kg	1
3.ベース	850×175×1240	36Kg	1
4.ウェイト(2枚入り)	510×70×510	34Kg	4

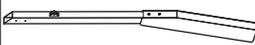
梱包総重量	
八角タイプ	206Kg
スクエアタイプ	207Kg
スクエアフリルタイプ	208Kg

<部品明細表>

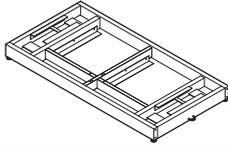
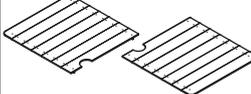
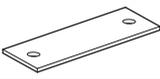
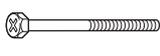
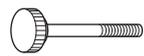
1.パラソル本体 (八角 or スクエア or スクエアフリル)

No.	名称	略図	数量
1	パラソル本体		1
2	クランクハンドル		1
3	グリップ		1
4	収納ベルト		1
5	組立・取扱説明書		1

2.支柱 (共通)

No.	名称	略図	数量
1	支柱		1
2	梁		1
3	柱軸パイプ		1
4	支柱受け		1
5	回り止めピン		1
6	梁組付けボルト	六角ボルト M8×15 	4
7	組立用スパナ	対辺13 	2

3.移動式ベースセット (共通)

No.	名称	略図	数量
1	ベース		1
2	ベースカバー		左右各1
3	ベース補強板		1
4	柱軸パイプ 組付けボルト	六角ボルト M8×110 	4
5	柱軸パイプ ナット	M8 	4
6	柱軸パイプ ばね座金	M8 	4
7	柱軸パイプ 平座金(小)	8×16×1.2 	4
8	柱軸パイプ 平座金(大)	8×30×2.0 	4
9	ベースカバー 固定ネジ	化粧ネジ M5×50 	8
10	移動用ベルト		2

4.ウェイト (共通)

No.	名称	略図	数量
1	ウェイト (1枚 17Kg)		8

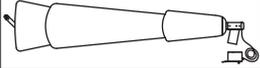
梱包明細【アンカー仕様】

梱包名称	梱包サイズ (mm)	梱包重量	数量
1.パラソル本体	八角	260×260×1840	18Kg
	スクエア	260×260×2310	19Kg
	スクエアフリル	260×260×2310	20Kg
2.支柱 (アンカープレート同梱)	290×215×2276	19Kg	1

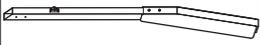
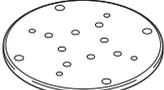
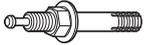
梱包総重量	
八角タイプ	37Kg
スクエアタイプ	38Kg
スクエアフリルタイプ	39Kg

＜部品明細表＞

1.パラソル本体 (八角 or スクエア or スクエアフリル)

No.	名称	略図	数量
1	パラソル本体		1
2	クランクハンドル		1
3	グリップ		1
4	収納ベルト		1
5	組立・取扱説明書		1

2.支柱 (アンカープレート入り)

No.	名称	略図	数量
1	支柱		1
2	梁		1
3	柱軸パイプ		1
4	支柱受け		1
5	回り止めピン		1
6	梁組付けボルト	六角ボルト M8×15 	4
7	組立用スパナ	対辺13 	2
8	アンカープレート		1
9	オールアンカー (ナット付き)	M10×70 	4
10	柱軸パイプ 組付けボルト	六角ボルト M8×15 	4

< 組立て手順 > 【標準】

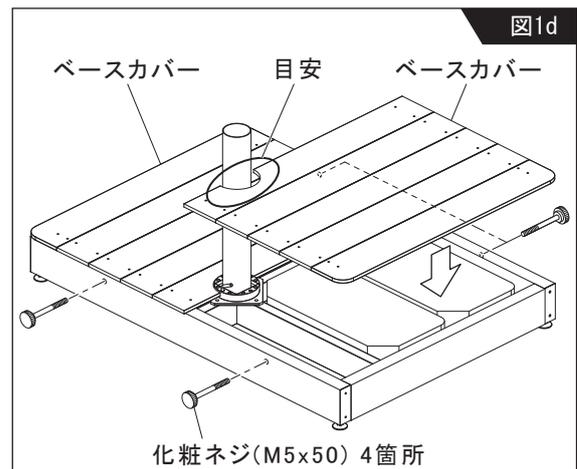
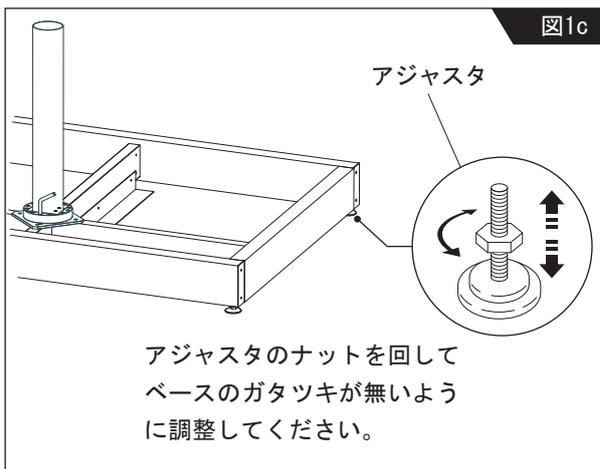
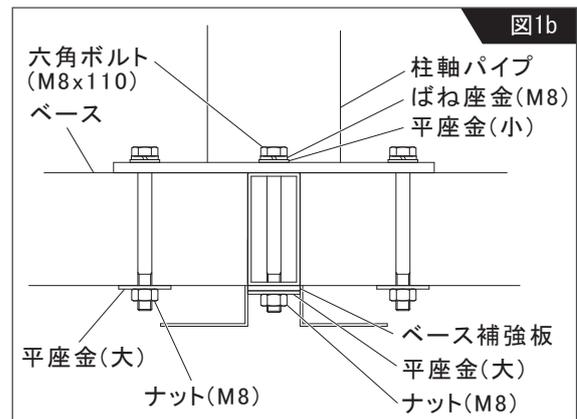
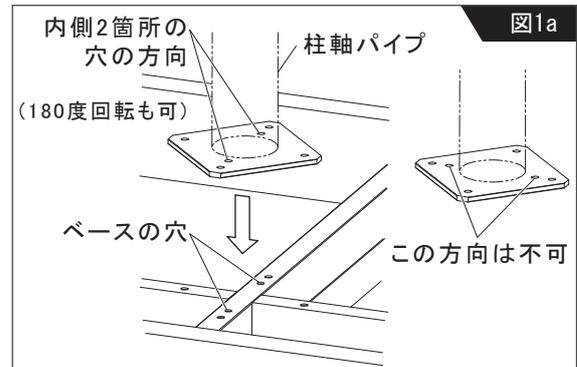
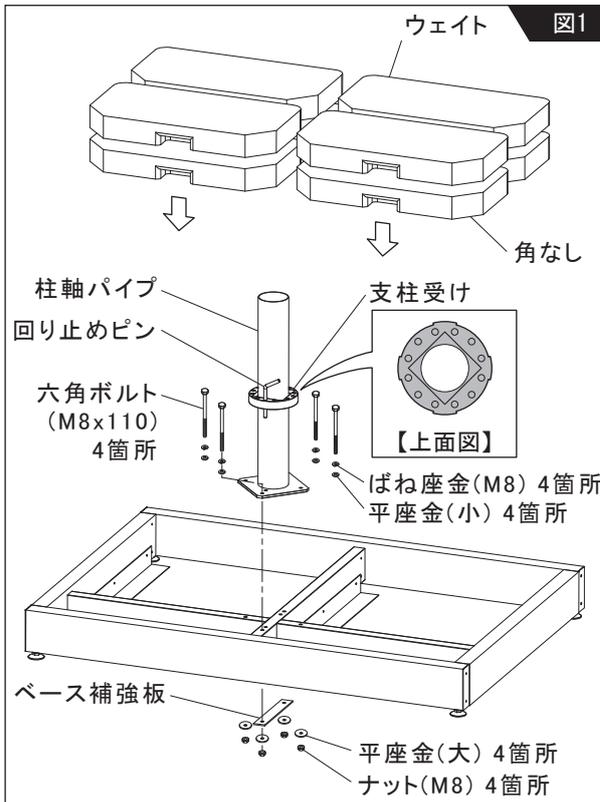
ベース組立 (図1、図1a、図1b、図1c、図1d参照)

1. 柱軸パイプの6箇所穴の内側2箇所穴がベースの穴の方向と一致するように位置を合わせ(図1a)、ベースに六角ボルトで固定します。(図1)
六角ボルトは外側4箇所穴に上から差し込みます。その際、上側にはばね座金と平座金(小)を、下側にはベース補強板(1枚)と平座金(大)を組み込み、ナットで締めてください。(図1b)
2. 支柱受けを柱軸パイプに取り付け、回り止めピンを差し込み固定します。(図1)
支柱受けは四角い溝がある側を上にしてください。
3. ベースにガタツキが無いようにアジャスタを調整してください。(図1c)
4. ベースにウェイト(8枚)を図のように載せてください。 ※136Kg (図1)
5. ベースカバーを取り付けます。
半円の切欠きを目安に位置を合わせ、側面から化粧ネジを通し固定します。(図1d)

重要 柱軸パイプを固定するボルトは強く締めつけてください。

! 重しには専用のウェイトをご利用ください。大きさや厚さが変わるとベースカバーの破損につながります。

! ウェイトを取り扱う際には、指を挟んだりしないよう十分注意してください。



< 組立て手順 > 【移動式】

ベース組立 (図1、図1a、図1b、図1c、図1d参照)

1. ベースにガタツキが無いように、キャスターが浮くまでアジャスタを調整してください。(図1)
2. 柱軸パイプの6箇所穴の内側2箇所穴がベースの穴の方向と一致するように位置を合わせ(図1a)、ベースに六角ボルトで固定します。(図1b)
六角ボルトは外側4箇所穴に上から差し込みます。その際、上側にはばね座金と平座金(小)を、下側にはベース補強板(1枚)と平座金(大)を組み込み、ナットで締めてください。(図1c)
3. 支柱受けを柱軸パイプに取り付け、回り止めピンを差し込み固定します。(図1b)
支柱受けは四角い溝がある側を上にご覧ください。
4. ベースにウェイト(8枚)を図のように載せてください。 ※136Kg(図1b)
5. ベースカバーを取り付けます。半円の切欠きを目安に位置を合わせ、側面から化粧ネジを通し固定します。(図1d)

重要 柱軸パイプを固定するボルトは強く締めつけてください。



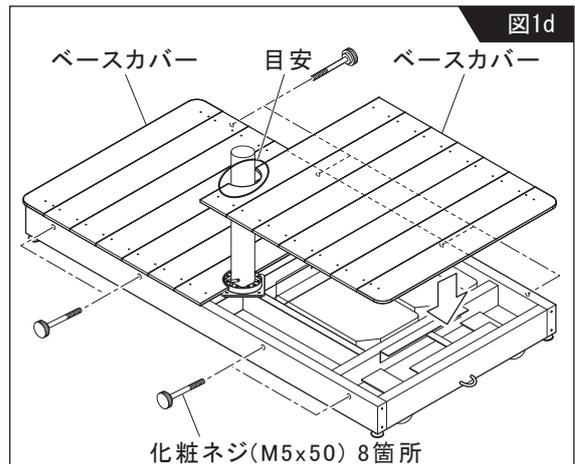
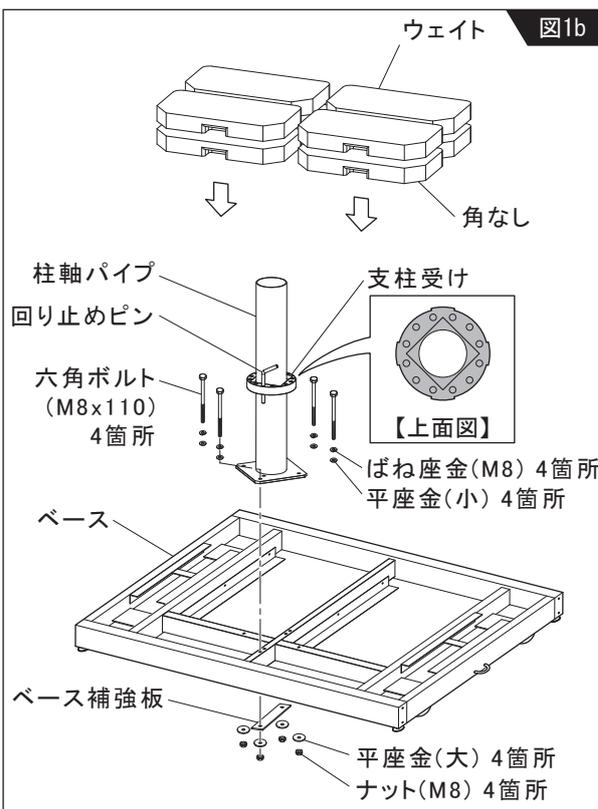
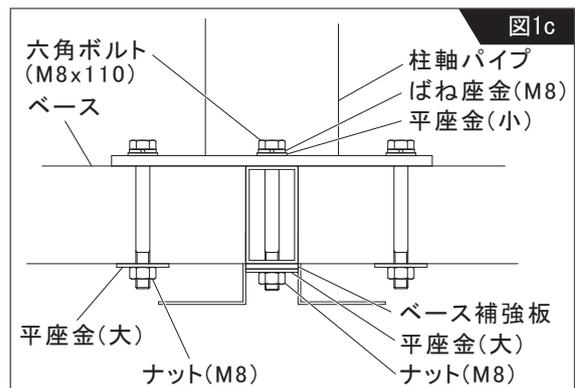
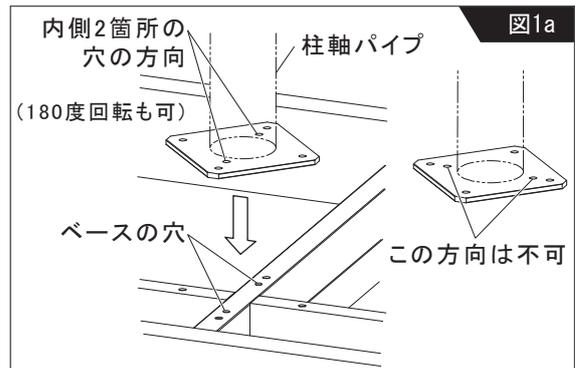
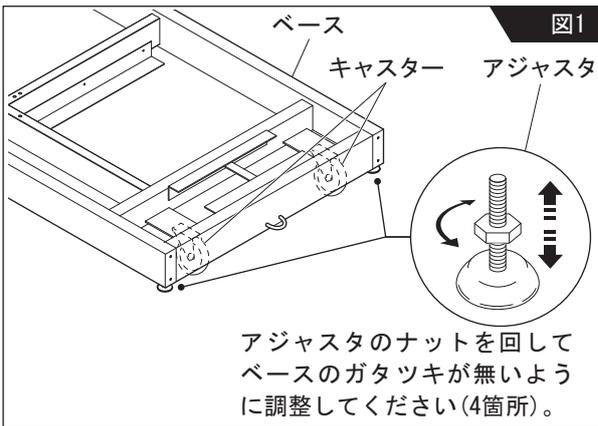
ウェイトを載せる前に必ずベースをアジャスタで固定してください。ベースが固定されていないとベースが動き大変危険です。



重しには専用のウェイトをご利用ください。大きさや厚さが変わるとベースカバーの破損につながります。



ウェイトを取り扱う際には、指を挟んだりしないよう十分注意してください。



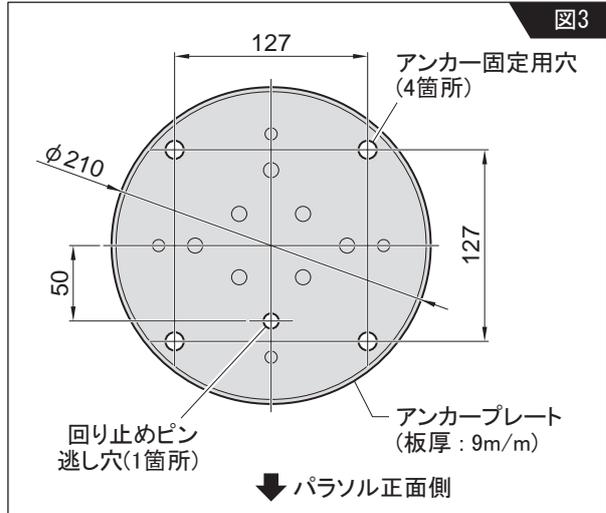
< アンカー仕様 >

アンカープレート固定 (図3、図3a参照)

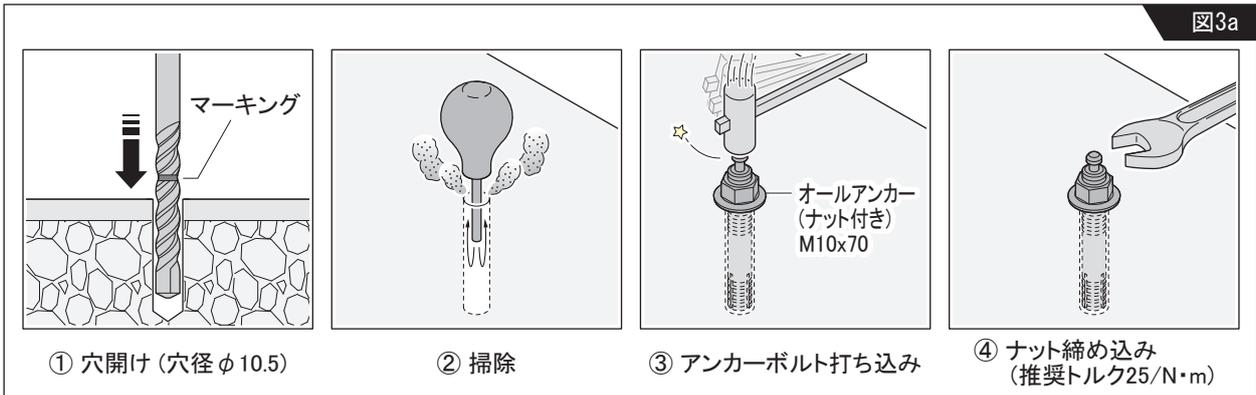
1. 回り止めピン逃し穴(1箇所)を開けます。(図3)
 ※ アンカープレートは4方向共通です。
 ※ アンカープレートの上からですとφ10.5のドリルは通りませんので、アンカープレートを外した状態で穴開けを行ってください。
2. アンカープレートの位置を合わせ、アンカー固定用穴(4箇所)にアンカーボルトを施工します。
 ※ 下記「アンカーボルト施工手順」に従い、アンカープレートを固定してください。(図3a)

アンカー固定用穴		回り止めピン逃し穴	
下穴径	深さ	下穴径	深さ
φ10.5	50以上	φ10.5	70以上

単位:mm



【アンカーボルト施工手順】

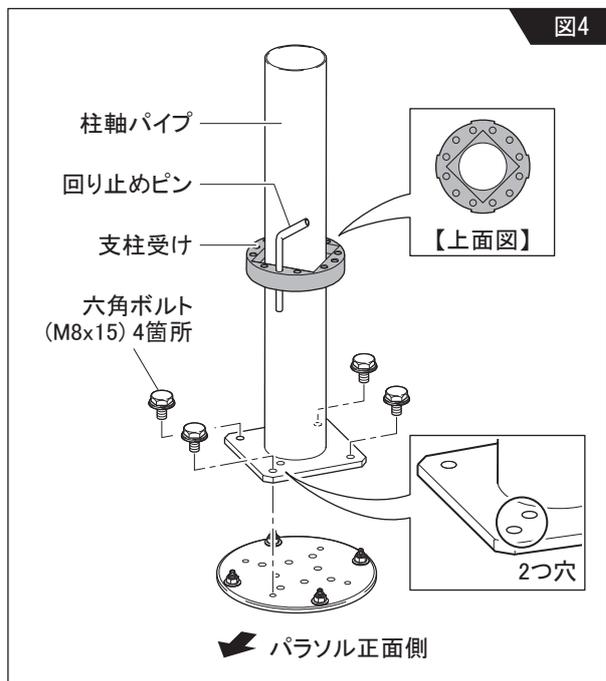


柱軸パイプ組立 (図4参照)

1. 柱軸パイプをアンカープレートに、六角ボルトで固定します。(4箇所) (図4)
 ※ 2つ穴の部分がパラソル正面側になるように、方向を合わせてください。
2. 支柱受けを柱軸パイプに取付け、回り止めピンを差し込み固定します。
 ※ 支柱受けは、四角い溝がある側を上にご覧ください。

重要 柱軸パイプを固定するボルトは強く締めつけてください。

※ 以降の手順は、【P.10 支柱・パラソル組立】をご参照ください。



< 使用方法 >

パラソルの開き方 (図5、図5a、図5b参照)

1. パラソルを開く前に、生地がねじれ、引っかかりを直してください。クランクハンドルを時計回り (OPEN) の方向に、機構に負担のかからないようにゆっくりと回し、パラソルを開いてください。(図5)



開閉操作は、安全のためパラソルの下に人がいない状態で行ってください。



回転方向が逆だと、事故や故障の原因になりますので十分ご注意ください。

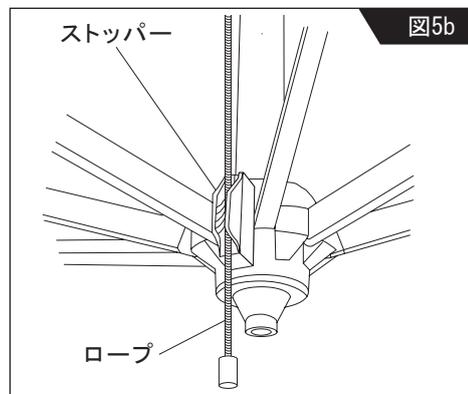
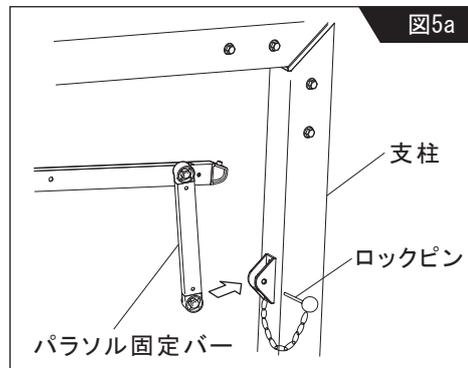
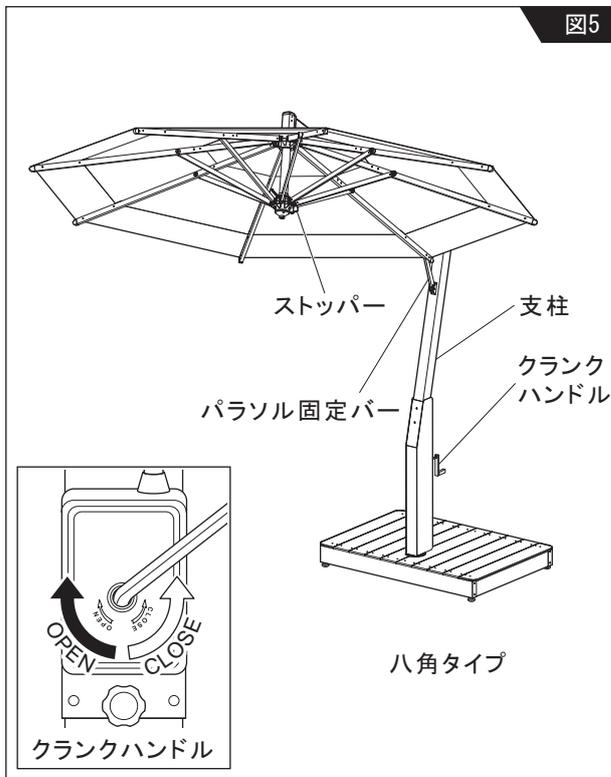


途中で過度の抵抗がある場合にはクランクハンドルを反時計回り (CLOSE) に回し、一旦パラソルを閉じて生地がねじれ、引っかかりなどが無いか確認してください。無理に回すとパラソル本体、ウィンチ等が破損する恐れがあります。

2. パラソル固定バーを支柱の受け部品に差し込み、ロックピンにて固定してください。(図5a)

3. パラソル中央部にあるロープをストッパーの溝に引っかけてください。(図5b)

パラソルが突然閉じてしまうことを防ぐ安全装置です。



パラソルの回転方法 (図6参照)

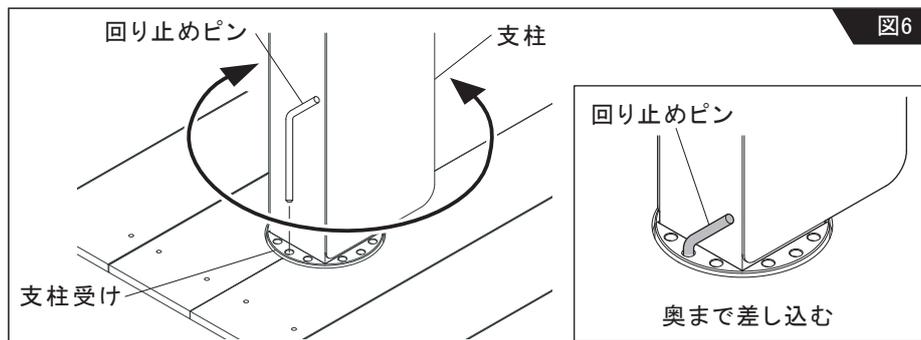
支柱受けに差し込んである回り止めピンを抜き、支柱を回転させるとパラソル全体が回ります。(360度)

支柱受けに開いている12箇所の穴の、いずれかの位置でパラソルを固定することができます。(図6)

パラソルを回転させても、回り止めピンを差し込む位置は変わりません。(正面の1箇所)



回り止めピンは、支柱受けの穴とベースの穴を合わせてから奥までしっかりと差し込むようにしてください。差し込みが不十分だと強風時にピンが外れパラソルが回転し、事故や破損の恐れがあります。



パラソルの閉じ方 (図6、図6a、図6b、図6c参照)

1. パラソルを閉じる前にロックピンを抜き、パラソル固定バーを外してください。(図6a)



パラソル固定バーを外さないとパラソルが閉じません。
また破損の原因となります。

2. パラソルの中央のロープをストッパーから外してください。



重要 ストッパーにロープを引っかけた状態ですと、パラソルが閉じませんので確実に外してください。

3. クランクハンドルを反時計回り (CLOSE方向) に回しながらパラソルを閉じます。(図6)

パラソルが完全に閉じるとウィンチロープが弛むので、クランクハンドルを時計回り (OPEN方向) に少し回し、ウィンチロープが張った状態にしてください。(図6c)



クランクハンドルの回転方向が逆だと、事故や破損の原因となりますので十分注意してください。

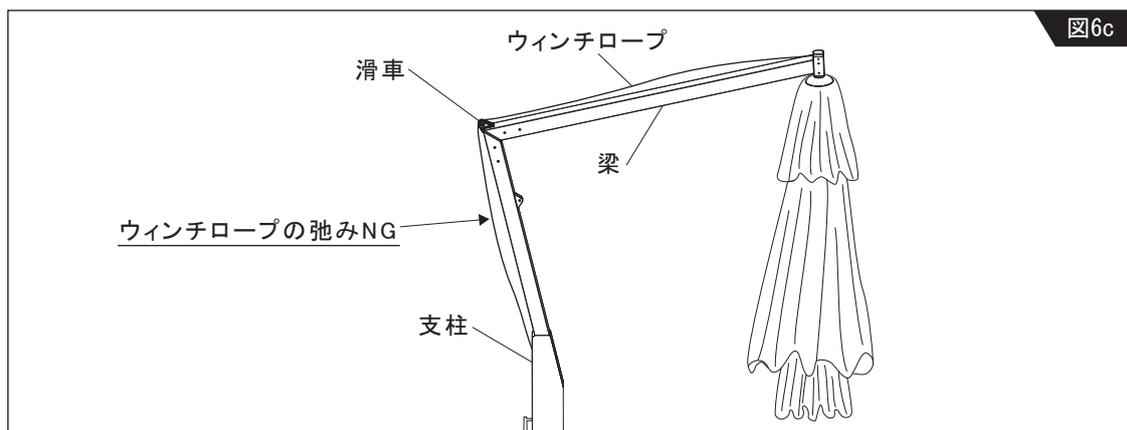
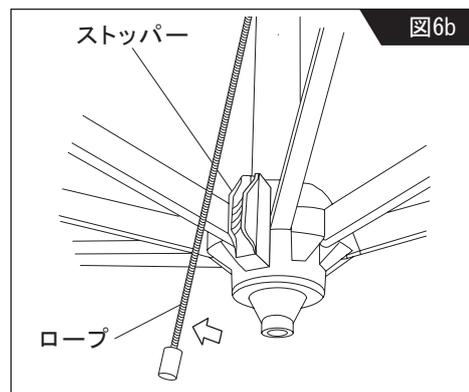
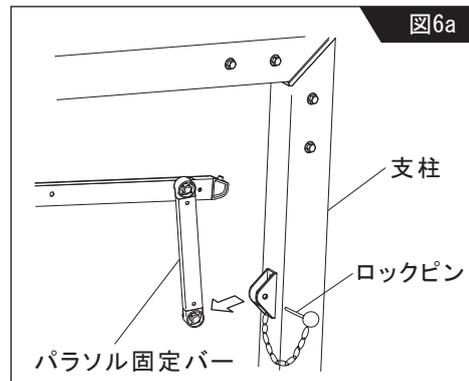
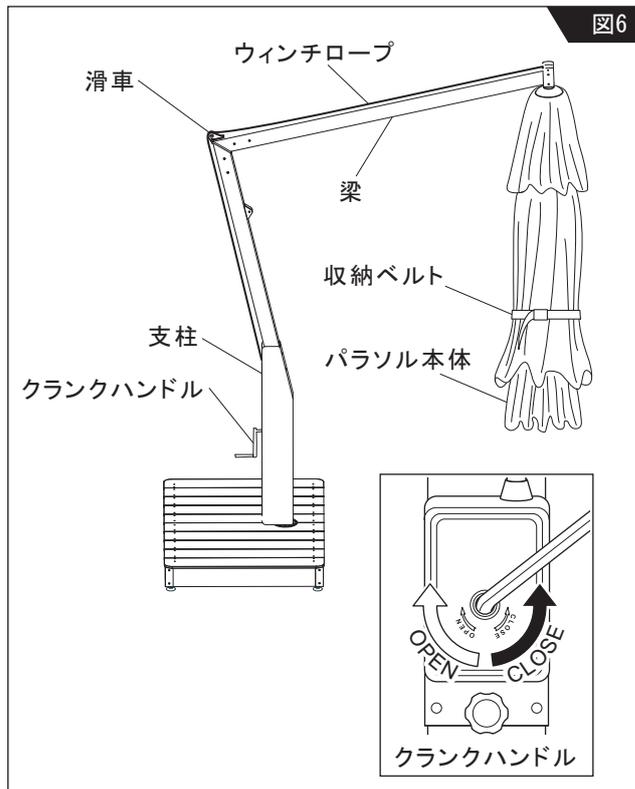


パラソルを閉じた際は、必ずウィンチロープが張った状態で収納してください。
ウィンチロープが緩んだ状態ですと、パラソル本体の落下による事故や破損の原因となります。

4. パラソル本体を収納ベルトで締めてください。(図6)



パラソルを閉じた際は必ず収納ベルトで締めてください。
収納ベルトで締めないと強風時に破損の原因となります。

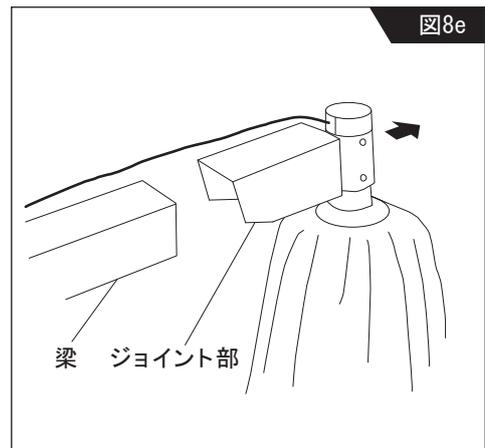
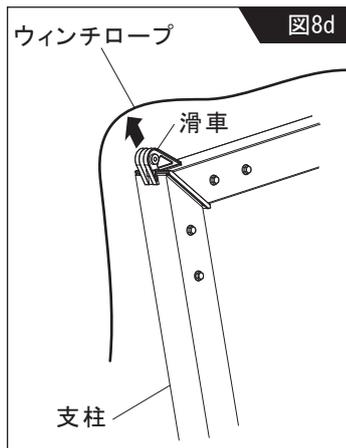
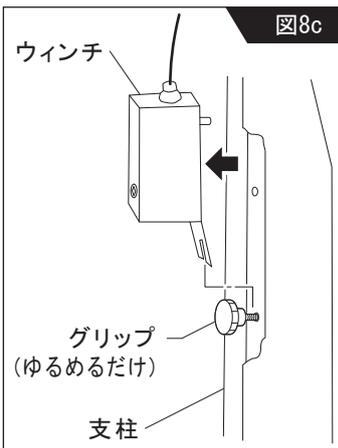
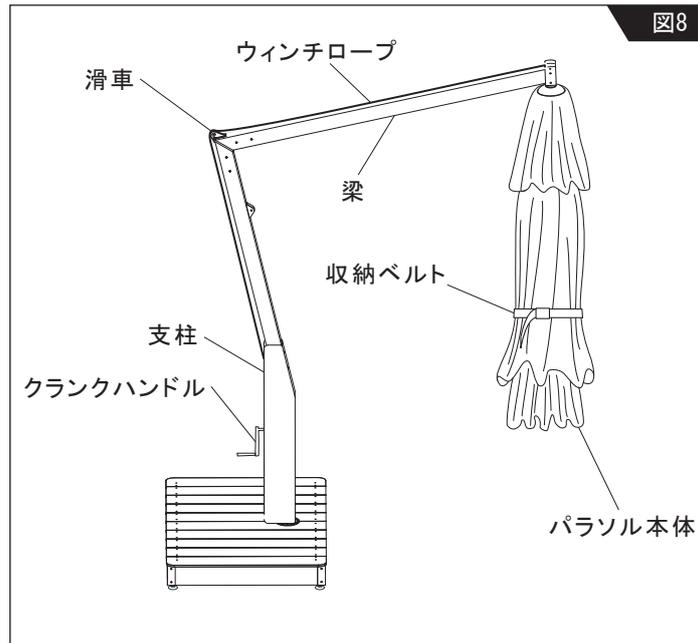
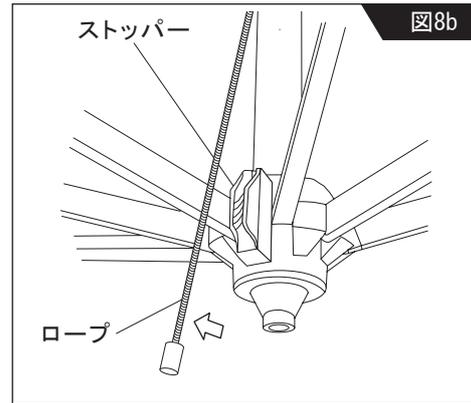
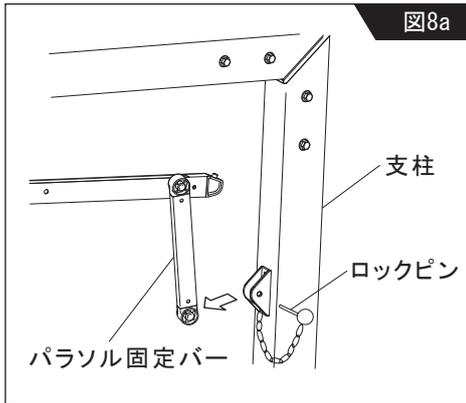


パラソルの撤去 (図8、図8a、図8b、図8c、図8d、図8e参照)

重要

パラソルを閉じる前にロックピンを抜き、パラソル固定バーを外してください。(図8a)
 パラソル中央のロープをストッパーから外してください。(図8b)

1. クランクハンドルを反時計回りに回しながらパラソルを閉じ、収納ベルトでしばります。(図8)
2. ウィンチを固定しているグリップを緩め支柱からウィンチを外し(図8c)、支柱上部の滑車からロープを抜き取ります。(図8d)
3. パラソルを少し持ち上げ、梁の先端に差し込んだジョイント部を引き抜きます。(図8e)



パラソルの移動【移動式】（図7d、図7e、図7f、図7g、図7h参照）

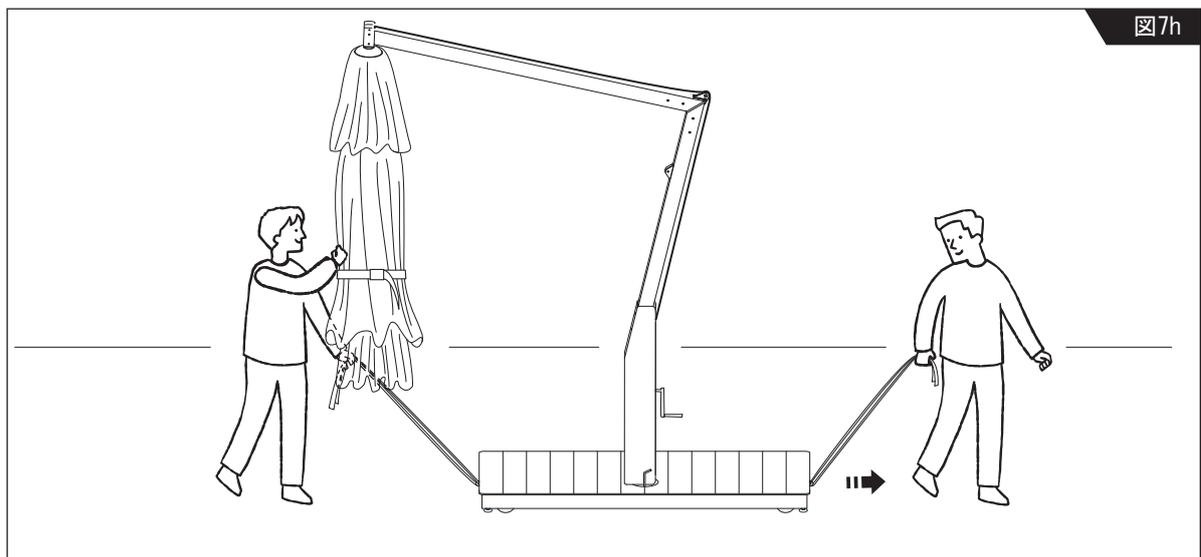
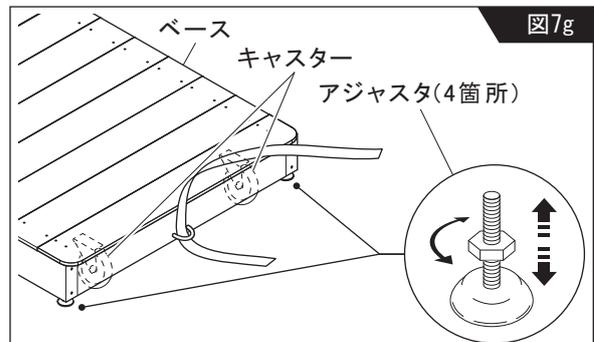
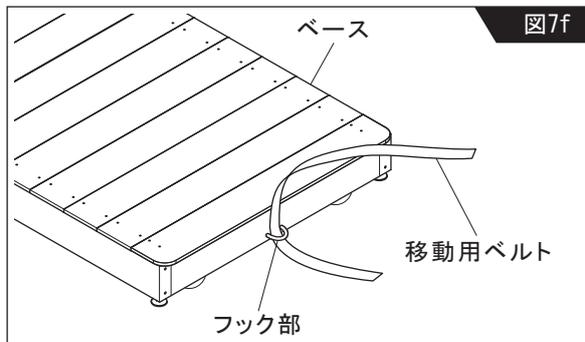
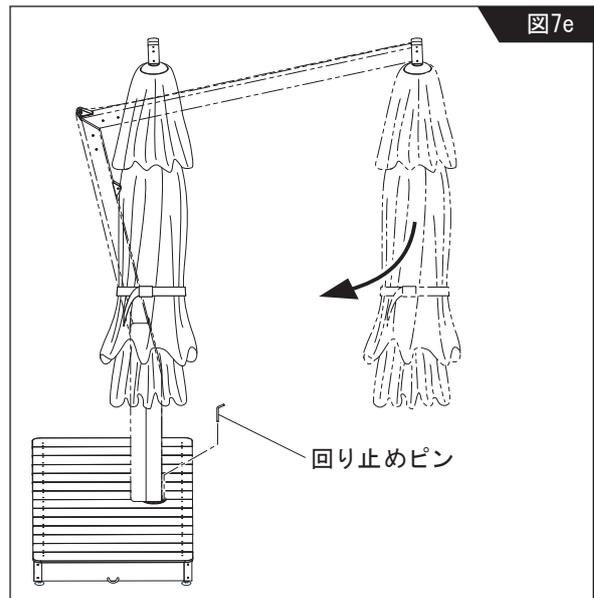
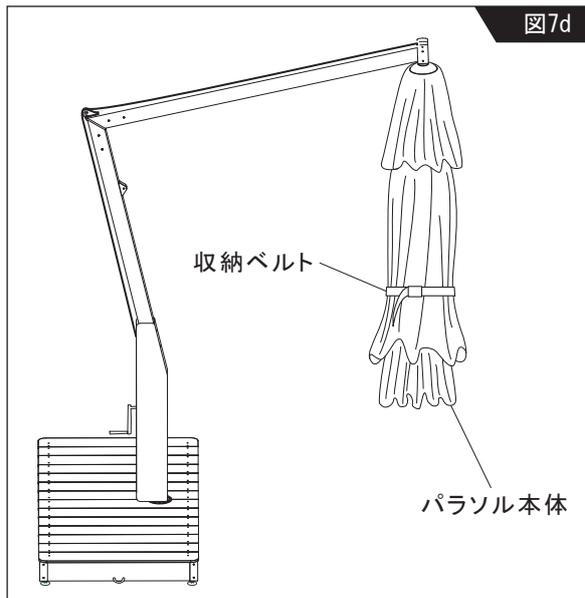
1. パラソルを収納した後(図7d)、パラソルの本体を図7eの様に回転させ回り止めピンでロックします。
2. ベースの両側のフック部へ移動用ベルトを通します。(図7f)
3. ベース部の4箇所のアジャスタを調整してベースを下げます(キャスターを接地させます)。(図7g)
4. ベルトを2人で操作し、パラソルを移動させます。(図7h)



移動は必ず2人で行なってください。1人で行なうとパラソルの移動方向が定まらず大変危険です。



パラソルを移動した先でも必ずアジャスタを調整し、ベースを固定してください。
ベースを固定しないと、風、傾斜等でパラソルが移動し、大変危険です。



ベンチレーション機構について（図8、図8a参照）

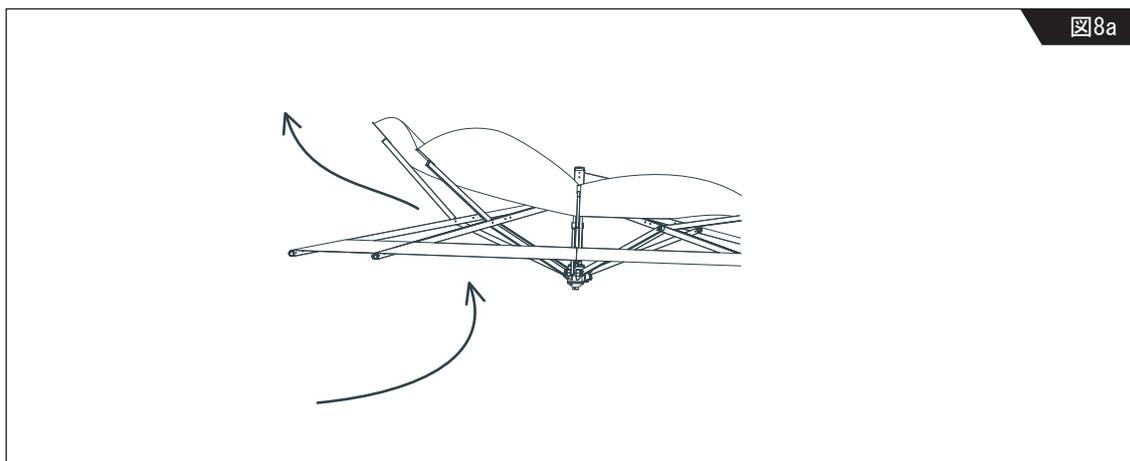
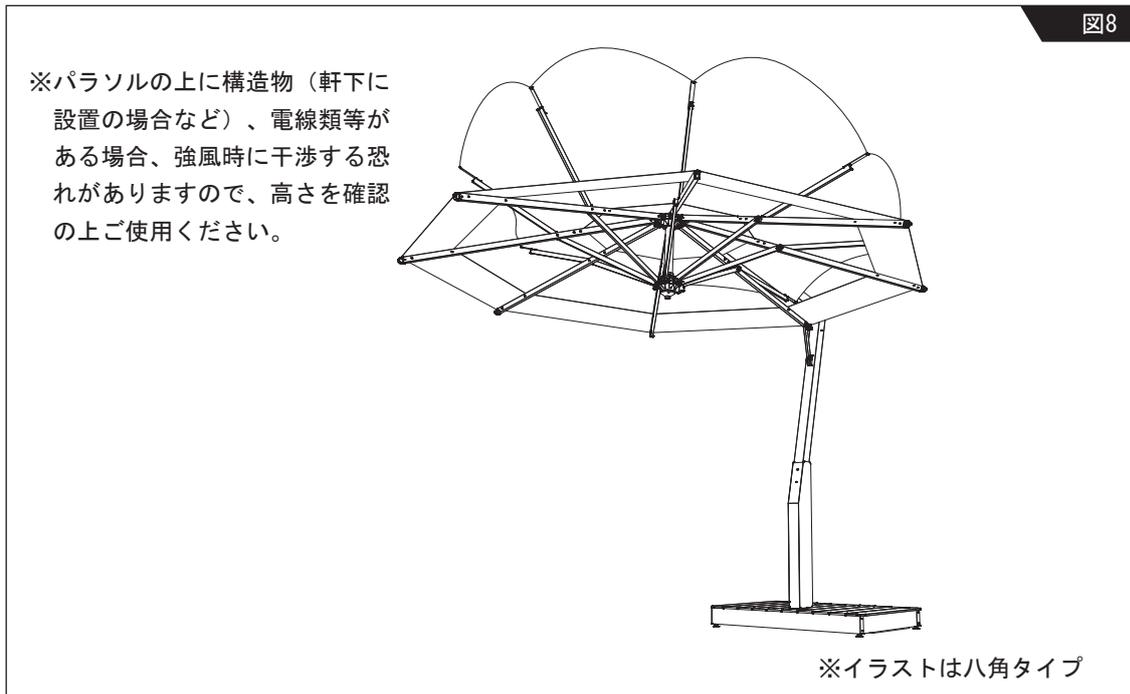
- この製品には安全対策として、強風時に風の力を逃がし、転倒・破損を防止するベンチレーション機構を搭載しています。（図8）

<ベンチレーション機構>

風の力に応じて、パラソル内周部が自動で開き風を逃がします。（図8a）

風が収まると自動で閉じ、通常の状態に戻ります。

※閉じる際に多少の動作音がございますので、予めご了承ください。



この機能が作動するような強風時には、性能を上回る強風が吹く恐れがありますので、直ちに使用を中止してください。

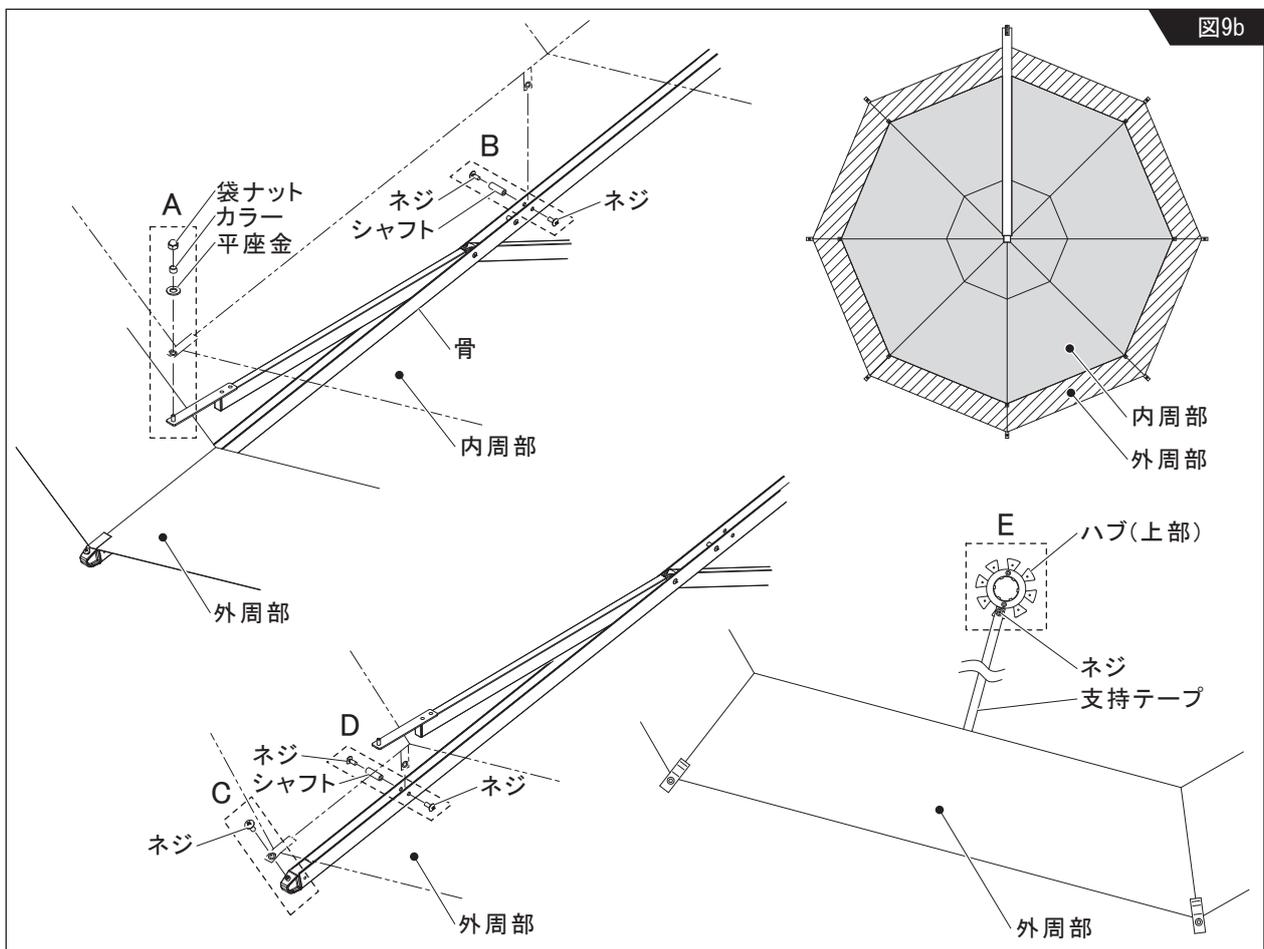
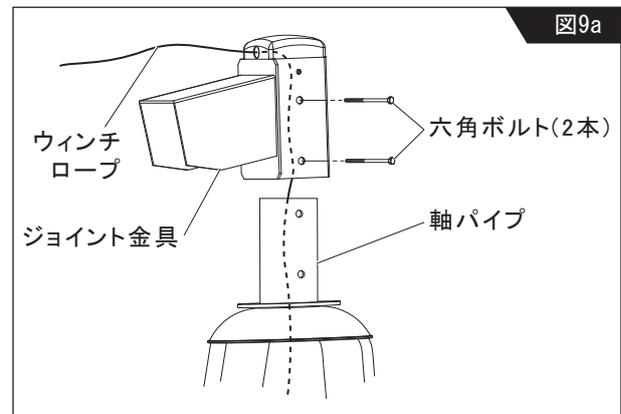
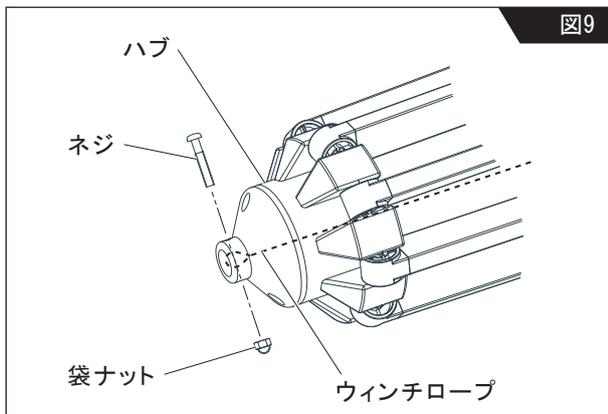


風の吹き方によって、ベンチレーションが作動しない場合があります。パラソルの開閉管理は、必ず行ってください。

＜ メンテナンスと保護 ＞

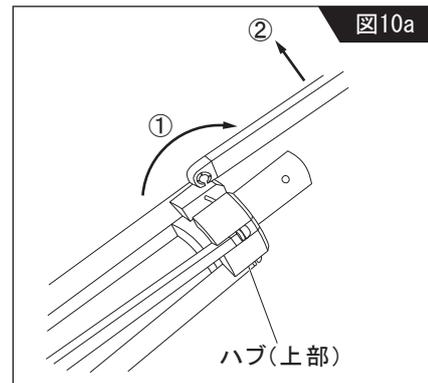
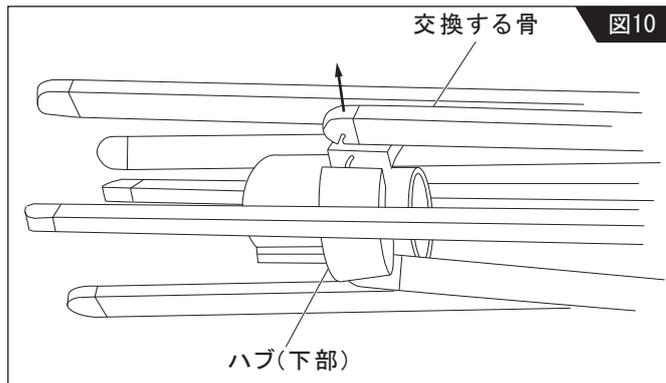
パラソル本体からウィンチと生地を取り外す（図9、図9a、図9b参照）

1. ハブ先端のネジを外し、ウィンチロープをフリーにします。（図9）
2. パラソル上部のジョイント金具のボルトを外し、軸パイプから外します。（図9a）
ロープを引いて軸パイプとジョイント金具から抜き取ることで、ウィンチの取り外しが可能となります。
3. パラソル生地を骨に止めている箇所(A~E)のネジを外し、生地を取り外します。（図9b）
生地は、外周部と内周部の2パーツにて構成されています。
初めに、各骨の内周部(A、B)を取り外してください。その後、外周部(C、D、E)を取り外してください。



パラソルの骨の交換（図10、図10a参照）

1. 交換する骨を、ハブ(下部)から上方向に引き抜いてください。(図10)
2. 骨を①のように180度回し、ハブ(上部)から上方向②に引き抜いてください。(図10a)
3. 骨を交換し、取り外しと逆の手順でパラソルを組み立ててください。



お手入れ

本製品は動くものです。いつまでも良い状態でご使用されるために、日頃からの定期点検を行ってください。

【点検項目】

項目	方法
各締結ボルト・ネジ類の緩みを確認	緩んでいた場合は締め付けなおすか、あるいは販売店にご依頼ください。
本体フレームのお手入れ	ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤を浸した柔らかい布を、かたくしぼって汚れを拭き取ってください。
パラソル生地のお手入れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. パラソル本体から生地を外す。 2. 生地は30℃くらいのぬるま湯で、中性洗剤を使い手洗いする。 3. 生地を陰干しで乾かし、アイロンはかけない。 4. パラソル本体に生地を再び取りつける。

季節終わりの撤去と保管方法

季節の終わりに撤去する際には、本体を濡らした布で拭いたあと乾かしてください。



本体構造が完全な状態かを確認する。
部品の損傷を確認した場合には、購入先に必要な交換部品に関してお問合せをしてください。

上塗装がはげた場合には補修してください。冬の期間中は、乾燥した場所に保管してください。



生地部のカビ、各金属部の錆による損害を防ぐためにも、濡れた状態、または湿ったままでの保管は避けてください。

< アフターサービスについて >

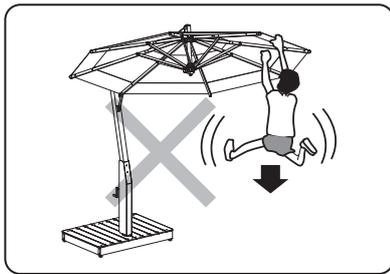
アフターサービスについて

- アフターサービスのご依頼・ご相談は、お買い求めの販売店までご連絡ください。
- お取り扱い、またはお手入れが適当でない為に生じた補修及び部品交換などは、有償となる場合もありますのでご了承ください。
- 製品の改良の為、予告なく仕様を変更する場合がございますので、予めご了承ください。

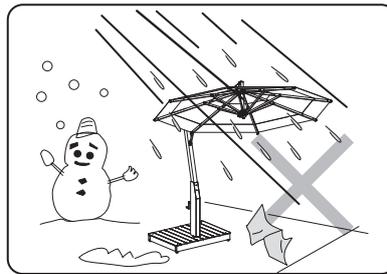
その他

- この商品は正しく取付け・ご使用にならないと、大きな対物・人身事故につながる恐れがあります。取付け・ご使用の際には、この説明書をよく読み正しく使用してください。
- この説明書に従わず、お客様の不注意による商品故障・事故につきましては、弊社は責任を負いかねる場合があります。予めご了承ください。

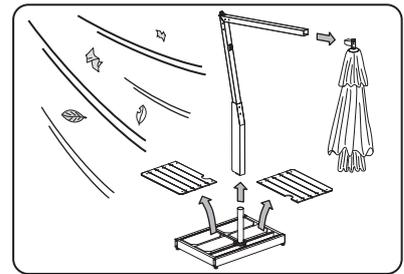
製品使用上の注意事項【共通】



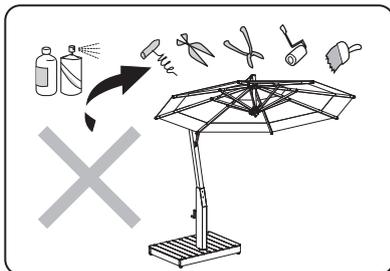
警告 柱やパラソルにぶら下がったり、本品に植木鉢等重いものを吊り下げないでください。



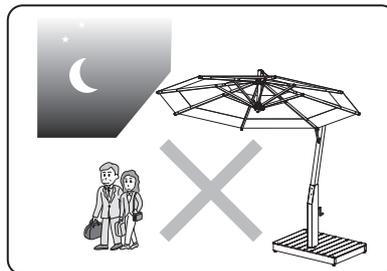
警告 強い風雨の時、積雪の際にはパラソルを収納してください。



警告 台風など予め強風が予想される場合には、パラソル、支柱、ベースカバーを取り外し保管してください。



警告 化学薬品は変色などの原因になりますので洗い流してください。また独自の判断で本品の強度が落ちるような変更はしないでください。



警告 夜間や外出の際には、急な天候の変化により本品を破損する恐れがありますので、必ずパラソルを収納してください。



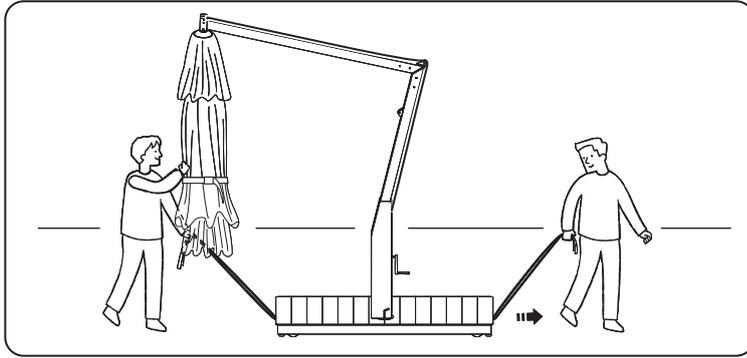
警告 パラソルが凍結している場合には溶けるまで待つてから操作してください。またゴミ等がある場合には、取り除いてください。



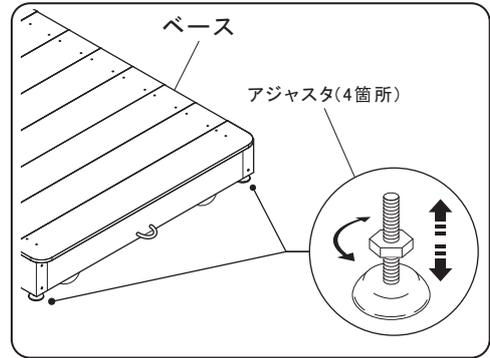
警告

- パラソルを移動させる際は、ベースから取り外して移動させてください。
- パラソルに接触するような、火気の使用を行なわないでください。火災の原因になります。
- 定期点検を行い、不具合箇所を発見した場合は使用しないでください。
- 破損・不具合等により、本体構造が完全な状態でない場合は、使用しないでください。

製品使用上の注意事項【移動式】



! パラスルの移動は、必ず2人で行なってください。
1人で行なうとパラソルの移動方向が定まらず大変危険
警告 です。



! パラスルを設置、使用、また移動
して収納するときは、必ずアジャ
警告 スタを調整し、ベースを固定して
ください。